

# Neoliberalism, Anxiety, and the Ethics of Self Optimization

ハワイ大学の哲学研究者であるジョセフ・タンキ教授をお招きする本セミナーでは、ネオリベラリズム社会のなかで機能する不安という情動の作用について検討する。神戸大学の元学振特別研究員の坂井礼文氏がタンキ教授の報告を踏まえ、討論者を担当する。本セミナーは英語でおこなう。

日時：2023年7月7日（金）16：30～18：00

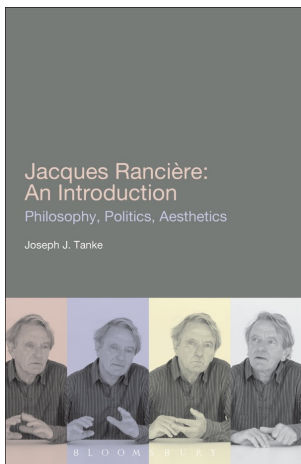
場所：学術交流ルームE410 対面のみ

報告者：Joseph Tanke (Professor, University of Hawaii)

討論者：坂井礼文 (政治哲学研究者)

※ 参加費無料、申し込み不要

## 登壇者紹介



### ➤ Joseph Tanke

ハワイ大学マノア校教授。専門は大陸哲学、哲学史、美学。著書に *Foucault's Philosophy of Art: A Genealogy of Modernity* (Continuum International Publishing Group, 2009), *Jacques Rancière: An Introduction—Philosophy, Politics, Aesthetics* (Continuum International Publishing Group, 2011)がある。

### ➤ 坂井礼文

政治哲学研究者。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了、博士（人間・環境学）。2019年4月から2023年3月まで神戸大学大学院国際文化学研究科にて日本学術振興会特別研究員（PD）。著書に『無神論と国家——コジェーヴの政治哲学に向けて』（ナカニシヤ出版、2017年）。レンヌとパリに1年ずつフランス留学の経験。2023年3月にハワイ大学マノア校でゲストレクチャーをおこなった。

Athéisme et état  
Pour la philosophie politique de Kojève

無神論  
と  
国家

コジェーヴの  
政治哲学に向けて

哲学者は  
“神”となりうるか

現代思想に多大な影響を与えた哲学者にして、宣傳としてヨーロッパ共同体建設への道を切り開いたアレクサンドル・コジェーヴ。その政治哲学を解明する。本邦初の本格的な研究書。

ナカニシヤ出版